

(21.6.24)

本日、ここに6月定例府議会を招集いたしましたところ、議員の皆様におかれましては、御多忙の中お集まりいただき、まことにありがとうございます。

ただ今議題となりました第1号議案平成21年度京都府一般会計補正予算ほか15件の案件につきまして、その概要を御説明申し上げます。

まず、第1号議案及び第2号議案は、一般会計予算及び病院事業会計予算の補正であります。

今年度は当初予算を「京都温め予算」と位置付け、雇用・経済や生活面において冷え込んでいる状況を回復することを優先するとともに、将来を見据えた京都づくりを進めるため積極的な予算編成を行い、現在、その執行に取り組んでいるところであります。

こうした中、今回の補正予算は、厳しい雇用・経済情勢を踏まえ、国の経済対策を活用して、府民の生活を守り、未来の京都づくりをより強力に進めるとともに、新型インフルエンザに的確に対応するために、「『生活と住まい、職と経営』を守る緊急対策」、「『安心できる暮らしづくり』のための緊急対策」、「『未来を見通した京都づくり』のための緊急対策」の3つの緊急対策を講じることとし、「京都温め予算」の充実を図るため、所要の予算を編成させていただいたところであります。

以下、歳出予算の主なものにつきまして、その概要を御説明申し上げます。

まず、「『生活と住まい、職と経営』を守る緊急対策」についてであります。

厳しい雇用・経済情勢が続く中、離職者等の生活再建を支援するための緊急の生活資金の貸付、住居を失った場合の一時宿泊場所の提供などを講じることとし、そのための経費1億2,100万円を計上するとともに、セーフティネットとしての生活福祉資金制度を充実・拡充するための経費15億1,000万円、介護職員の処遇改善のための経費23億3,000万円を計上しております。また、自殺者数が高い水準で推移していることから、新たに設置する自殺ストップセンターに、いのちサポートチームを編成し相談体制を強化するなど自殺対策を充実するための経費7,000万円、高齢者や障害のある方が快適に居住できるよう府営住宅のバリアフリー化を推進するための経費4,000万円を計上しております。

さらに、新型インフルエンザ発生の影響により、厳しい経営を強いられている中小企業に対する緊急融資制度を創設するとともに、中小企業緊急資金対策融資などの一層の利用が見込まれることから、融資枠の拡大、融資制度の充実を行うこととしております。また、緊急雇用対策事業について、NPO、企業等からの提案型事業及び市町村が実施する雇用対策事業を拡充するための経費6億円を計上するとともに、母子家庭等の就業を支援するためジョブパークと連携した求人開拓等の取組みや資格取得のための訓練促進給付金を拡充する経費3億1,400万円などを計上しております。

第2に、「『安心できる暮らしづくり』のための緊急対策」についてであり

ますが、新型インフルエンザの流行期に備え、ハイリスク患者の入院治療体制の整備、一般病院における発熱患者の初期診療体制の確立などに要する経費6億5,500万円を計上するとともに、救急医療、産科医療における医師不足の課題に対処するため、救急勤務医及び産科医等に対する手当の新設を支援することとしております。加えて、障害者支援施設等の新サービス体系への円滑な移行を支援するための経費5億円、社会福祉施設や保育所等の防災対策を講じるための経費52億5,600万円などを計上しております。

第3に、「『未来を見通した京都づくり』のための緊急対策」についてであります。厳しい時代だからこそ未来の礎を築くことが重要と考え、「観光」、「産業」、「環境」、「教育」、「地域活性化」の5つの分野で未来を見通した京都づくりを進めることとしております。

まず、「観光」分野では、新型インフルエンザの影響で減少した観光客を取り戻すため、京都観光振興交付金9,000万円を創設し、観光関連団体等が行う観光客誘致事業を支援するとともに、修学旅行生を対象とした着物体験など京都らしい体験を提供することとしております。また、京都市及び京都商工会議所と連携・共同し、京都のまちが総力を結集して「京都知恵と力の博覧会」を開催するとともに、「産業」分野では、成長が期待されるエコ分野、健康産業、コンテンツビジネスの支援や小規模企業の新分野への進出等について積極的に支援することとしております。

また、「環境」分野では、ソーラー防犯灯の導入による環境・防犯対策の推

進、電気自動車用充電設備の整備、保育所、幼稚園や特別支援学校の芝生化整備など、太陽のまちづくり推進事業費5億600万円を計上するとともに、里山荒廃の防止対策、松くい虫被害等から京都市域の文化的景観を保全するための緊急措置、府内産間伐材を利用した教育設備等の整備を行うこととしております。

さらに「教育」、「地域活性化」の分野では、全ての府立高校等の普通教室でインターネット等を活用した授業を行うことができる環境の整備、京都縦貫自動車道の利用料金の割引、府民の安心・安全の確保や供用開始に重点をおいた公共事業に要する経費を計上しております。

以上が、歳出予算の概要であります。この結果、一般会計の補正予算額は、745億1,000万円となり、補正後の一般会計予算額は、9,229億8,500万円となっております。その財源といたしましては、国庫支出金が389億7,700万円、基金からの繰入金で92億6,900万円、その他の特定財源が262億6,400万円となっております。また、企業会計の補正額は、3,500万円となっております。

次に、第3号議案から第12号議案までの10件は、条例の制定等に関する案件であります。

第3号議案は、地球温暖化対策、環境保全の推進に資するため、第4号議案は、介護職員の処遇改善及び介護老人福祉施設等の円滑な開設の支援に資するため、第5号議案は、安心・安全の確保及び適切な介護サービスの提供を目的とした社会福祉施設等の整備に資するため、第6号議案は、自殺対策を実施す

るため、いずれも国の経済対策を受け基金を設置するための条例を制定するものであります。第7号議案は、救急勤務医及び産科医等に対する手当を創設するため、第8号議案は、地方税法の一部改正に伴い、第9号議案は、歯科技工士法の一部改正に伴い、第10号議案は、臨港地区の禁止構築物の明確化等を行うため、第11号議案は、山城地域における府立学校再編整備計画の実施等に伴い、それぞれ所要の改正を行うものであります。また、第12号議案は、府立婦人教育会館を長岡京市に譲渡することに伴い、条例を廃止するものであります。

次に、第13号議案は、貸付期間が満了する財産の無償貸付けにつきまして、第14号議案は、舞鶴港舞鶴国際ふ頭に設置するガントリークレーンの取得につきまして、第15号議案は、京都府森林利用保全指針の策定につきまして、第16号議案は、京都地方税機構の設置に関する協議につきまして、それぞれ議会の議決を得ようとするものであります。

以上が、ただ今議題となりました議案の概要であります。御議決いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。